

名古屋市女性会館のあらし

令和2年度版

名古屋市教育委員会

目 次

I	目 的	1
II	建設の経緯	1
	1 女性学習センター	1
	2 女性情報センター	2
III	施設のあらまし	2
	1 名称・位置	2
	2 建物の概要	2
	3 施設の案内	3
	4 開館時間と休館日	3
	5 部屋別一覧	4
IV	組織及び分掌事務	5
V	予 算	5
VI	令和2年度事業計画	6
	1 はじめに	6
	2 事業目標と具体的な事業	6
	(1) 「学習の場」の提供	6
	(2) 「交流の場」の提供	7
	(3) 「情報の場」の提供	8
	3 施設等の提供	8

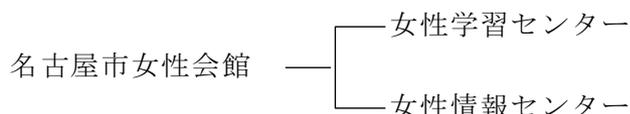
VII	令和元年度事業結果	9
1	主催事業のあらまし	9
	【具体的な事業展開】	10
1	「学習の場」提供事業	10
2	「交流の場」提供事業	12
3	「情報の場」提供事業	14
4	その他	16
VIII	令和元年度利用状況	17
1	開館日数	17
2	利用人数	17

I 目的

名古屋市女性会館は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として、女性の学習活動・グループ活動の支援等を行い、女性教育の振興を図ることを目的として設けられた社会教育施設である。学習や交流をとおして、女性が問題を解決する力を高められるように、各種の事業を展開している。

また、平成3年に併設された女性情報センターは、女性の生涯にわたる学習要求に応える情報の提供や女性自らの情報の活用、発信を支援することを目的としている。

なお、女性情報センターの開館により、既設の婦人会館と新設の女性情報センターの総合名称を「女性会館」とし、婦人会館部分を女性学習センターとした。



さらに、市民に一層親しまれる施設となるよう、女性会館の愛称を公募により「イーブネット」とした。

「イーブネット… “イーブン=平等” と “ネットワーク=交流と連帯” の言葉を合わせたもの」

平成26年4月には男女平等参画推進センターが女性会館に移転し、女性教育と男女平等に係る事業及び運営を一体的に行っている。

また、両施設の共通愛称を公募により「イーブルなごや」とした。

「イーブル… “イーブン=平等” と “エイブル=可能” を組み合わせた言葉」

II 建設の経緯

1 女性学習センター（旧「婦人会館」）

昭和48年12月19日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市会に請願（署名8万人）
49年 2月 1日	請願、市会で採択
49年 8月30日	地域婦人団体、クラブ婦人団体が市長及び教育委員会へ陳情
49年12月 3日	婦人グループ・サークルが市長及び教育委員会へ陳情
50年 1月29日	婦人グループ・サークル共同で婦人会館建設を市会に請願
50年 1月	名古屋市短期3か年計画を策定（婦人会館建設を計画）
50年 4月 1日	婦人会館建設調査費を当初予算に計上（調査費30万円）
50年10月13日	婦人団体・グループ代表を含む建設調査委員会設置 第1回会合、基本構想について審議
50年12月 1日	第2回会合、施設・事業内容について審議 他都市実情調査
51年 2月24日	第3回会合、あるべき会館像の作成
51年 4月 1日	51年度予算に実施設計費を計上（1000万円）
51年 7月 7日	第4回会合、女性の要望集約を決定
51年 7月～9月	計画案・事業案についての女性の要望、意見集約
51年 9月	現在地に構想固まる 実施設計費を9月市会で補正
51年12月	本体工事実施設計を完了
52年 4月20日	工事着工
53年 7月19日	開館

2 女性情報センター

昭和60年10月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホールの建設をすすめる会」 発足（4団体・69グループ参加）
60年12月	「婦人会館に婦人教育情報センターとホール建設に関する陳情書」を 市長、教育委員会及び市会へ提出（署名59,000人）
61年 8月	婦人団体代表、学識経験者を委員とする「女性教育情報センター建設 調査委員会」を設置
62年 2月	すすめる会より女性教育情報センターの施設構想について要望書提出
63年 3月	「女性教育情報センター基本構想」策定
平成 元年 3月	女性教育情報センター基本設計完了、情報システム調査実施
元年 9月	実施設計完了
元年12月	建設着工
2年12月	建設完了
2年12月	情報システム設計完了、運用準備
3年 5月24日	開館

Ⅲ 施設のあらまし

1 名称・位置

- (1) 名称 名古屋市女性会館（共通愛称「イーブルなごや」）
 (2) 位置 名古屋市中区大井町7番25号

2 建物の概要

	女性学習センター	女性情報センター	合 計
敷地面積	2,211.08㎡	1,169.26㎡	3,380.34㎡
延床面積	3,434.18㎡	2,392.49㎡	5,826.67㎡
建築面積	1,043.39㎡	791.12㎡	1,834.51㎡
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上3階建一部4階建	立体駐車場 484.08㎡
着 工	昭和52年4月20日	平成元年12月	
竣 工	昭和53年7月15日	平成2年12月	
開 館	昭和53年7月19日	平成3年5月24日	
総 工 費	608,962,000円 うち国庫補助 60,000,000円 県費補助 60,000,000円	1,022,000,000円 うち国庫補助 83,000,000円 県費補助 71,400,000円	

3 施設の案内

区 分	女性学習センター	女性情報センター
4 階		同時通訳室（親子ルーム）（3）・調光・映写室・設備機械室
3 階	大会議室・中会議室・大研修室 第4集会室・第6研修室・第7研修室 多目的室	ホール
2 階	第1研修室・第2研修室・第3研修室 第1和室・第2和室・視聴覚室・授乳室 生活科学研修室・小会議室	録音室・モニター室
1 階	文化活動室・ボランティアルーム・喫茶室 印刷コーナー・託児室・第4研修室 活動コーナー・図書資料室 第5研修室・図書閲覧コーナー	第1集会室・第2集会室・第3集会室 情報フロア・活動コーナー
地 階	機械室・電気室・ボイラー室 消火用ポンプ室	

駐車場	立体駐車場	32台
	平面駐車場 (身障者用2台含む)	17台
	合 計	49台

4 開館時間と休館日

(1) 開館時間

午前9時～午後9時（日曜・祝休日は午後5時まで）

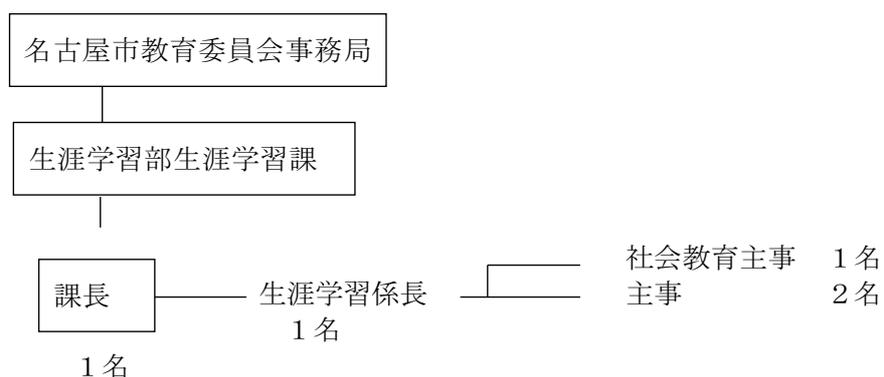
(2) 休館日

毎月第3木曜日、年末年始

5 部屋別一覧

区分	女性学習センター			女性情報センター		
	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)	部屋名	定員 (人)	面積 (㎡)
3階	大会議室	42	97.40	ホール	350	350.00
	中会議室	24	49.80	ステージ	—	140.00
	大研修室	150	141.60	ロビー	—	61.75
	第6研修室	12	33.62			
	第7研修室	32	70.25			
	多目的室	30	76.48			
	第4集会室	63	94.40			
2階	視聴覚室	126	144.60	録音室	—	18.52
	第1研修室	54	70.80			
	第2研修室	54	70.80			
	第3研修室	12	29.88			
	生活科学研修室	54	87.00			
	第1和室	18	97.00			
	第2和室	15				
	小会議室	12	29.88			
1階	事務室・放送室	—	90.80	第1集会室	36	51.41
	第4研修室	15	32.00	第2集会室	22	37.99
	第5研修室	8	21.39	第3集会室	12	31.26
	文化活動室	50	117.00			
	託児室	—	86.96			
	ボランティアルーム	—	29.96			
	図書資料室	—	163.18			

IV 組織及び分掌事務



生涯学習係分掌事務（女性会館関係）

- (1) 女性会館の事業
- (2) 女性教育の事業
- (3) 女性会館の管理等に関する合理化

（令和2年3月31日現在）

V 予算

（単位：千円）

事 項	令和2年度	令和元年度	増 減
女性会館運営費	64,642	63,813	829
管 理 費	62,013	61,300	713
学習機会提供事業	645	640	5
情報提供相談事業	1,984	1,870	114
女性カレッジ	—	3	△3

1 はじめに

誰もが、互いの人権を尊重し、責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現は、21世紀の社会における最重要課題である。

これまでも名古屋市女性会館（以下、女性会館）は、女性教育を振興する拠点施設として、男女共同参画社会の実現をめざし、女性の生涯にわたる学習を推進してきた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、我々を取り巻く環境は大きく変わり、女性に関わる課題もより顕在化した。こうしたwithコロナの時代にも学びを止めないための対策・工夫をしつつ、引き続き、国の「第4次男女共同参画基本計画」や本市の「名古屋市男女平等参画基本計画2020」の内容を踏まえ、女性教育を振興する拠点施設の使命を達成していくものとする。そして、「学習の場」「交流の場」「情報の場」を充実させ、さらなる女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）や男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる事業を展開していく。また、平成26年度より一体的運営を行っている男女平等参画推進センターとの連携を一層進め、実効性のある充実した事業実施に努めていく。

2 事業目標と具体的な事業

※ 破線で囲まれた事業については、指定管理者が進める。

(1) 「学習の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の視点に立った意識啓発につながる学習、また社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習の機会を提供する。

① 主催講座・講演会の開催

ア 講座の4本柱とその内容

女性の生き方、エンパワーメント

女性の生き方やエンパワーメントにつながる学習、社会的性別（ジェンダー）の視点が養われる学習。

現代的課題

人権、環境、国際理解等、女性を取り巻く今日的課題についての理解を深めるとともに、課題解決に向けての実践的な態度を養う学習。

社会参画

施設ボランティアや女性リーダー等、地域社会に積極的に参画する人材を育成する学習。

子育て

家庭教育の充実と支援、「親学」の推進を図る学習。

イ 講座・講演会の開催

系統的・継続的な学習機会として連続講座を開催する。

継続的な参加が困難な学習者や女性会館を利用したことがない学習者等、幅広い市民を対象として、単発で行う講演会等を開催する。

ウ 学習サポート

障がいのある方や子育て中の保護者等、様々な事情・状況にある方への学習支援を行うために、講座資料やチラシ等の点訳や要約筆記、手話通訳、託児付きの事業を実施する。

エ 連携

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、大学、行政機関、女性関連施設、女性会館施設ボランティア等と積極的に連携して事業を展開する。

地域で活躍できるこれからの女性リーダーの育成を目的とした「なごや女性カレッジ」を、2年度は、金城学院大学と連携して開催する。

オ 出前講座

将来を担う若者たちに、男女共同参画や社会的性別（ジェンダー）、デートDV等についての正しい知識や現状について学ぶ機会を提供するために、名古屋市内の高等学校を対象に出前講座を実施する。

② 託児事業

託児事業として、女性会館を利用する学習者、また団体・自主学習グループ活動に参加する学習者を支援する「学習支援託児」を行う。

また、講座・講演会等のすべての主催事業において「講座託児」を行う。

(2) 「交流の場」の提供

女性会館で活動している団体・自主学習グループが、主体的に学び、様々な交流ができ、かつ学習の成果を地域社会に還元することができるように支援する。

① 学習成果の還元

ア 「イーブルなごや・フェスティバル」の開催をはじめ、団体・自主学習グループが協力して学習や交流ができ、学習の成果を地域社会に還元できる場を開設する。

イ 団体・自主学習グループによる「自主学習グループ開設講座」に対して支援する。

ウ 「学習グループ登録」の推進や、団体・自主学習グループによる学習の成果還元を支援する。

② 団体・自主学習グループの育成・支援

ア 講座や学習終了後、さらに自主的に学習を深めていこうとする団体・自主学習グループの育成・支援を行う。

イ ボランティア活動やグループ活動の継続・継承・発展を支援するための研修会を開催する。

(3) 「情報の場」の提供

女性のエンパワーメントや男女共同参画の意識啓発、社会的性別（ジェンダー）の視点を養うことにつながる情報を収集し提供する。

① 学習相談事業

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、女性の課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら情報収集し学習できるよう活動コーナーの学習環境を整えたり、相談を受けたりする。

② 図書資料室の運営

ア 女性のエンパワーメント、男女共同参画、社会的性別（ジェンダー）の視点で、図書・資料を収集する。

イ 図書・資料の展示、貸し出しを行う。

また、図書・資料に関する問い合わせ対応や活用の支援を行う。

ウ 主催事業に関連した、男女共同参画の意識啓発や女性の課題解決に向けたテーマでの図書・資料の企画展示を行う。

エ 講座・講演会等で図書資料室や企画展示のガイダンスを行い、利用促進を図る。

③ 広報の充実

女性会館の事業紹介や学習情報の提供のための広報を積極的に行う。

ア 新聞、地域誌等の広報媒体を活用した積極的な広報を行う。

イ 講座ガイドやチラシを活用した広報を行うとともに、ホームページの充実を図る。

3 施設等の提供

「女性の学習・交流・情報の拠点」として、利用者の視点に立った快適な学習環境の形成のために、施設・設備にかかる良好な条件整備に努め、利用促進を図る。

Ⅶ 令和元年度事業結果

1 主催事業のあらまし

(1) 「学習の場」の提供事業

① 講座の開催

- ・ 主催講座（なごや女性カレッジを含む）16 講座開催。「大切にしたい！ココロとカラダ」や「アサーション入門～他尊重のメッセージ～」などを開催した。
- ・ 施設ボランティア育成事業として「点訳ボランティア入門講座」「託児ボランティア養成講座」を前期・後期に開催した。

② 公開講座・講演会等の開催

「女性とスポーツの歴史」「部落差別『家族』の思い～子ども達への取材から見たこと～」など女性の現代的課題にかかわるテーマで公開講座・講演会を12回開催した。また、デートDV防止出前講座を12回開催した。

③ 「なごや女性カレッジ」の開催

金城学院大学と連携して「ストレスを低減し心を健康に～しっかり学ぶマインドフルネス～」をテーマに開催した。

④ 連携事業

- ・ 総務局男女平等参画推進室(※1)との共催で、女性の政治参画が社会や日常生活にどのような変化をもたらすのかをテーマに「女性の政治参画はなぜ進まないのか!？」として特別講演会を開催した。
- ・ 主催講座については、託児の会「たんぽぽ」などの女性学習グループや、名古屋市立大学と連携して開催した。

(※1) 令和2年度からスポーツ市民局男女平等参画推進室

⑤ 託児事業

- ・ 「講座・講演会託児」70回、「学習支援託児」22回等実施した。

(2) 「交流の場」の提供事業

① 学習の成果を還元するための支援

主催講座・講演会における要約筆記、点訳資料の作成、託児付き事業などを実施した。

② グループの育成・支援

「託児ボランティア研修会」などを開催し、施設ボランティアの活動の継承と発展を支援した。

(3) 「情報の場」の提供事業

① 図書資料室の運営

女性関係専門書の収集、閲覧、貸し出しを行った。また、講座・講演会に関連した図書を展示・貸し出しする「図書・資料の企画展示」を開催した。

② 広報の充実

名古屋市公式ウェブサイトや「生涯学習 Web ナビなごや」へ最新の情報を掲載した。また、地域誌、各社新聞などマスコミを通じての情報提供を積極的に行った。

【具体的な事業展開】

1 「学習の場」提供事業

(1) 主催講座

「女性の生き方、エンパワーメント(A)」、「現代的課題(B)」、「社会参画(C)」、「子育て(D)」の4本柱で、年間を前期（5月～10月）・後期（10月～3月）の2期に分け、実施した。

期	時間	曜日	講座名	回数(回)	募集定員(人)	応募者数(人)	学習者数(人)	託児受入数(人)
前期講座	午前	月	<J-1>【名古屋市立大学連携講座】大切にしたい!ココロとカラダ (A)	4	30 (34)	47	34	5
		水	<J-2>こころのメール～障がいのある女性とともに～ (A)	5	20	14	12	2
		金	<J-3>アサーション入門～自他尊重のメッセージ～ (A)	4	25	33	24	5
		月	<J-4>家族のかたち (A)	5	30	23	19	11
		月	<J-5>点訳ボランティア入門講座1 (C)	4	20	18	14	2
		火	<J-6>心理学でワタシ発見! (A)	5	30 (34)	50	34	7
		金	<J-7>託児ボランティア養成講座1 (C)	4	20	18	10	2
		木	<T-3>子どもへの性教育は、どうしていますか?～子育て講座思春期編～ (D)	4	30	34	30	12
前期計		8講座		35	205 (213)	237	177	46
後期講座	午前	火	<J-8>なりたいワタシへのヒント (B)	5	30	32	27	13
		金	<J-9>託児ボランティア養成講座2 (C)	4	20	8	7	1
		月	<J-10>点訳ボランティア入門講座2 (C)	4	20	12	12	1
		水	<J-11>映画に見る女性像 (B)	4	30	20	20	4
		金	<J-12>スポーツと女性の活躍 (B)	4	30	14	13	4
		水	<J-13>医食で知るワタシの健康 (A)	4 (5)	30 (31)	38	31	2
		土	<J-14>ココロでみつめた「家族」～私もあなたも幸せになるヒント～ (B)	5	30 (33)	38	33	6
		火	<J-15>〔なごや女性カレッジ〕【金城学院大学連携講座】ストレスを低減し心を健康に～しっかり学ぶマインドフルネス～ (C)	3 (5)	30	96	30	10
後期計		8講座		33 (36)	220 (224)	258	173	41
主催講座計		16講座		68 (71)	425 (437)	495	350	87
						充足率	80.1%	

※ 「<J-13>医食で知るワタシの健康」の第5回は主催者都合により中止

※ 「<J-15>ストレスを低減し心を健康に」の第4回及び第5回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月2日から3月31日まで臨時休館となったことにより中止

※ 回数の括弧内は当初の予定回数

※ 募集定員の括弧内は募集定員増加後の定員

※ 全68回中7回託児なし

(2) 公開講座・講演会等

事業名	月日	テーマ	講師	学習者数 (人)	託児数 (人)
公開 講座	11月 15日	<E-7>女性とスポーツの歴史	中京大学教授 来田 享子	33	—
	1月 18日	<E-10>部落差別「家族」の思い ～子ども達への取材から見えた こと～	毎日新聞大阪社会部記者 林 由紀子	70	—
「いま」 を 読み 解く	6月 15日	<E-2>尊厳ある生と死のため に	中日新聞編集委員 安藤 明夫	148	0
	6月 29日	<E-3>人生100年時代の家計 術	岐阜大学教授 大藪 千穂	161	8
	9月 21日	<E-4>つながり合って命を守 る～合言葉は「命・支え合い・自 ら動く」～	防災教育アドバイザー・ JICA 防災教育担当専門家 近藤ひろ子	63	託児3 受入4
	11月 16日	<E-8>工学分野から男女共同 参画社会を考える	豊橋技術科学大学副学長 中野 裕美	25	1
なごや環 境大学共 育講座	12月 9日	<E-9>減らそう食品ロス 「き ちんと、ごちそうさま」で未来に つながろう	NACS 消費生活研究所主任 研究員 浅野智恵美	67	1
名古屋市 博物館共 催「特別 展にみる 女性たち 2019」	10月 15日	<E-5>伊勢湾台風と女性たち	名古屋市博物館学芸員 鈴木 雅	72	2
	2月 12日	<E-12>やなせたかしとアンパ ンマン展	名古屋市博物館学芸員 藤田 紗樹	98	託児5 受入6
名古屋市 美術館共 催「特別 展にみる 女性たち 2019」	5月 15日	<E-1>吉野石膏コレクション に見る女性たち	名古屋市美術館学芸員 森本 陽香	85	2
	1月 20日	<E-11>岸田劉生の世界～麗子 像を中心に～	名古屋市美術館学芸課長 井口 智子	193	1
特別 講演会	6月 8日	<E-6>女性の政治参画はなぜ 進まないのか!?	上智大学教授 三浦 まり	107	2
		12回		1,122	託児25 受入27

※ E-7、E-10 はそれぞれJ-12、J-14 の第1回

※ 託児数は実際の託児の人数、受入数は申込の人数

(3) 託児事業

事業名	回数・月日	内容	託児者・講師等	託児延数(人)
講座託児	58回	1歳以上就学前までの子の託児	託児の会 「たんぽぽ」	220
講演会託児	9回			25
なごや女性 カレッジ	3回			20
学習支援託児	22回			321
託児室交流会	5月10日 7月26日 10月4日 1月10日	講座託児説明会&託児室で遊ぼう	託児の会 「たんぽぽ」	39
	7月2日 12月9日	語ろう会 (託児利用者と託児ボランティアとの交流会)	託児の会 「たんぽぽ」	22
			合計	647

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月2日から3月31日まで臨時休館となったことにより、講座、女性カレッジ及び学習支援託児の一部は中止

2 「交流の場」提供事業

(1) イーブルなごや・フェスティバル2019の開催

テーマ「令和元年！ 共に進もう 新しい未来へ」

事業名	月日	内容等	参加者数(人)
特別講演会 「女性の政治参画はなぜ進まないのか!？」	6月8日	上智大学教授である三浦まり氏による、女性の政治参画が社会や日常生活にもたらす変化などについての講演	107
舞台発表	6月23日	イーブルなごやで活動しているグループによる舞台発表	239
全館オープングループ活動デー	6月22日	全館を使って24グループが活動内容を紹介	1,097
交流コーナー・交流会	6月22日	様々な分野で活動している団体による交流コーナーの設置。最後の交流会では、全館オープングループ活動デーの様子を参加グループの前で紹介・報告	331
2分の1 B紙展示	5月24日～ 6月22日	B紙の大きさを1/2にして展示 28グループの活動紹介・作品展示	25,175
スタンプラリー	6月22日	館内の指定の場所でイーブルスタンプを押し、景品と交換	151

(2) 自主学習グループ主催講座の開設支援

講座名	団体名	曜日	時間	回数(回)	定員(人)	学習者数(人)
あがり解消法・素敵な話し方	演芸と朗読会	土	午後	5	10	2
素敵な演歌を楽しむ	演歌を楽しむ会	月	午前	5	10	4
もったいないを家庭から	つながれっと3R	木	午前	2	15	3
もったいないを家庭から 「捨てる前の一工夫」	イーブルなごや 3RL	木	午前	4	12	3
エンジョイコーラス	いちょうの会	土	午前	3	10	4

(3) 研修会・交流会

事業名	回数・月日	内容	講師等	参加者(人)
託児ボランティア研修会	5回	託児活動の確認 講座「ジェンダー論から考える子育て」等	愛知教育大学准教授 嶺崎 寛子 ほか	92
難聴者等支援ボランティア研修会	2回	「分かりやすいノートテイクの仕方」等	NPO法人名古屋難聴者・中途失聴者支援協会 大橋 千鶴子	8
点訳ボランティア研修会	5月27日	点訳の手引き(第4版)について	名古屋盲人情報文化センター図書館事業部係長 藤下 直美	8
子育てグループ交流会(子育てグループ交流会共催)	8月28日 2月26日	仲間と一緒に親子で遊ぼう♪	名古屋おやこセンター副理事長 竹内 由美ほか	40 28
合 計				176

3 「情報の場」提供事業

(1) 学習相談事業

(単位：件)

学習 機会	施設	団体・ グループ	指導者	資格	教材 (資料)	学習 プログラム	その他	合計
46	12	67	1	1	83	6	195	411

(2) 図書資料室の運営

ア 利用者数等

事 項	令和元年度	平成30年度
貸出利用者数	1,043人	962人
貸出利用冊数	2,320冊	2,051冊
予約・リクエスト件数	46件	23件
新規登録者数	124人	156人

イ 蔵書数

区 分	令和元年度末	平成30年度末
図書・資料 計	30,701	30,300
図書 ※1	21,133	20,885
雑誌 ※2	5,377	5,281
資料 ※3	3,925	3,868
VTR、DVD、CD-ROM	266	266

※1 参考図書、児童図書含む

※2 「女性展望」「We learn」「女たちの21世紀」など

※3 全国行政機関発行資料、団体資料、大学紀要、貴重書など。

ウ 図書・資料の企画展示実施結果

回数	開催期間	テーマ	展示した図書の内容
1	5月1日～ 5月31日	仕事とジェンダー	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事におけるジェンダー平等について ・女性と仕事について ・世界を変えた女性たちについて
2	7月1日～ 7月31日	若い力を育てる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における家族について ・日本における子育てについて ・日本における思春期の子どもへの性教育について
3	9月1日～ 9月30日	職場環境を改善しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における職場環境の改善について ・日本の職場におけるコミュニケーションについて ・日本の職場におけるハラスメントについて
4	11月1日～ 11月30日	人権について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・人権とは何かについて ・子どもの人権について ・女性への暴力について
5	1月4日～ 1月20日	「家族」とはなんだろう？	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とは何かについて ・いろいろな家族のかたちについて ・日本の家族の移り変わりについて
6	3月1日～ 3月31日 【中止】	いきいきと生きるために	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の心と体の健康について ・マインドフルネスについて ・人生100年時代を前向きに生きていく方法について

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月2日から3月31日まで臨時休館となったことにより、6回目は中止

4 その他

(1) ホール機器研修会

開催日	参加者 (人)
令和元年6月13日	27
令和元年7月11日	20
令和元年8月8日	11
令和元年9月12日	8
令和元年10月10日	14
令和元年11月14日	7
令和元年12月12日	14
令和2年1月9日	5
令和2年2月10日	2
合計	108

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月2日から3月31日まで臨時休館となったことにより、3月は中止

Ⅷ 令和元年度利用状況

1 開館日数 319日

2 利用人数 238,172人 (平成30年度 246,146人)

内訳

(1) 研修室・ホール等利用人数

218,428人 (平成30年度 206,001人)

区 分	女 性	男 性	計
貸 室 (男女平等)	30,279人	11,059人	41,338人
貸 室 (女性教育)	64,594人	11,542人	76,136人
貸 室 (その他)	54,707人	38,734人	93,441人
主催講座	5,805人	1,708人	7,513人
計	155,385人	63,043人	218,428人

(2) その他の利用人数

19,744人 (平成30年度 40,145人)

室 名	女 性	男 性	計
託 児 室	2,806人	843人	3,649人
ボランティアルーム	983人	33人	1,016人
録音室・モニター室	43人	41人	84人
その他(※)	—	—	14,995人
計	3,832人	917人	19,744人

(※) 貸室以外で行った事業及び、図書資料室・活動コーナー・情報フロアなどの利用者を計上

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年3月2日から3月31日まで臨時休館

(3) 研修室・ホール等部屋別利用状況

部屋名	利用件数	利用率	利用者数
大会議室	577 <small>件</small>	64.7 <small>%</small>	11,924 <small>人</small>
中会議室	706	79.1	7,121
小会議室	668	74.9	4,014
大研修室	695	77.9	18,124
第1研修室	588	65.9	12,152
第2研修室	547	61.3	10,215
第3研修室	717	80.4	4,067
第4研修室	674	75.6	4,646
第5研修室	765	87.3	3,387
第6研修室	744	83.4	4,577
第7研修室	699	78.4	9,007
第1和室	587	66.0	3,836
第2和室	438	49.3	3,119
生活科学研修室	491	55.0	7,426
視聴覚室	586	65.7	22,804
文化活動室	722	82.0	11,332
第1集会室	685	76.8	9,079
第2集会室	700	78.5	6,479
第3集会室	728	81.6	4,040
第4集会室	699	78.4	13,819
多目的室	790	88.9	7,322
ホール	300	41.3	39,938
合 計	14,106	72.6	218,428
平成30年度合計	15,017	72.5	206,001